

2019年度

1st.アカデミア臨床開発セミナー

小児科領域における 研究開発の動向

医薬品医療機器総合機構 (PMDA)
山岸 義晃 先生

最先端医療イノベーションセンター1階マルチメディアホール

近年、欧米等では新規治療の研究開発を進め「小児を守る」べきとの考え方が広まつつある。欧州では、現在、医薬品開発の際には小児も対象に含む計画立案が義務付けられ、遺伝疾患等の希少疾病に対して種々の研究開発インセンティブが設定されている。一方、小児や希少疾病の臨床試験は多くの課題があるが、バイオマーカーの活用等の種々の戦略により克服が試みられている。

当日は、小児・希少疾病に関して国内外の薬事規制・インセンティブの概要と開発戦略の動向についてご紹介したい。

共催：大阪大学医学部附属病院（臨床研究中核病院）未来医療開発部

後援：大阪大学医学部附属病院 医療技術実用化総合促進事業（国際共同臨床研究実施推進）

お問い合わせ：大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部

E-Mail : seminar@dmf.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6210-8414